



閉幕から1年—未来をつくる子どもたちへ

大阪・関西万博が閉幕してから、まる1年がたちました。

大阪の夢洲に世界各国から人々が集まり、半年間にわたって、文化や技術、未来の社会について交流が繰り広げられていました。世界中の人々が大阪に集い、それぞれの国や地域の魅力を伝え合いながら、これからの社会について考える。そんな大きな出来事が、私たちの暮らす大阪で開かれたことには、特別な意味があったように思います。



大阪で万博が開かれたのは、今回が初めてではありません。1970年の開催から55年を経て、社会や暮らしは大きく変わりました。2025年、再び大阪で開かれた万博で、私たちは新たな技術や世界の多様な文化に触れ、未来に思いを巡らせる機会を得ました。



あれから1年。会場で目にした展示や建物、世界各国の人々が集う光景は、少しずつ過去のものになりつつあります。しかし、万博が残したものは、会場での景色や体験だけではありません。知らない世界に出会った驚き、これからの暮らしへの期待、そして未来はどのようなにつくられるのかという問いが、一人一人の心に残っているのではないのでしょうか。

万博の魅力は、珍しい展示や新しい技術に触れられることだけではありません。普段の生活では出会いにくい国や地域の文化を知り、自分の知らない世界があることを実感できる点にもあります。遠い国の出来事だと思っていたことが、実は自分たちの暮らしとつながっている。そんな気づきが生まれるのも、万博ならではの経験でした。



その舞台となった大阪で暮らす子どもたちにとって、万博は世界とつながる機会を身近に感じられる場でもありました。野田小学校では、全学年が遠足で万博を訪れました。会場で実際に見聞きしたことを通して、子どもたちは世界の文化や新しい技術に触れ、未来について考えました。自分たちの暮らす大阪が世界から注目され、さまざまな国の人々を迎えたことは、子どもたちにとって大切な経験になったことでしょう。

閉幕から1年という節目は、万博を懐かしく振り返るだけでなく、そこで感じ、考えたことをこれからにどうつなげていくかを考える機会でもあります。「これから、どんな社会をつくっていくのか」という問いに、終わりはありません。



これからの社会を生きる子どもたちには、身近な大阪から世界に目を向け、知らないことに興味をもち、さまざまな人や考え方に出会ってほしいと思います。そして、未来を誰かに任せるのではなく、自分たちもその未来をつくる1人なのだと感じてほしいと願っています。

(※裏面に続く)

(※表面より)

万博を単なる大きなイベントの思い出で終わらせず、これからの社会や自分の生き方を考えるきっかけとして生かしていくこと。それは、開催地である大阪に暮らす私たちが、これからも大切にしていきたいことです。

世界が集まった大阪で育つ子どもたち。万博から1年がたった今、あのときに思い描いた未来は、これから生きる子どもたちの手に委ねられています。子どもたちには、この街に誇りと愛着をもちながら、広い世界に目を向け、自分の知らないことに好奇心をもち、さまざまな人との出会いを通して、自分の可能性を広げていってほしいと思います。そして、互いの違いを認め合い、力を合わせながら、自分らしい夢を胸に、未来を切り拓いていってほしいと願っています。一人一人の小さな発見や挑戦が、やがて大阪、そして世界の新しい未来をつくっていく。その可能性を、心から期待しています。



「通級による指導」について

本校では、障がいのある子どもの多様な学びの場の1つである「通級による指導」を自校に開設する「自校通級」を令和6年度より開設しています。

【対象となる子ども】

通常学級に在籍し、知的障がいがなく、おおむね学年相応の学習に参加できるものの、LD・ADHD・自閉スペクトラム症等の発達障がいや情緒障がい等による学習上・生活上の困難があり、特別の指導を必要とする子ども



【指導内容】

おおむね週1時間程度、一人一人の障がいの状況に応じた「自立活動」を行います。自分なりのできる方法をみつけたり、自分の特性を理解して効果的に練習したり、環境にうまく働きかけたりするなど、自分の力を可能なかぎり発揮して主体的に取り組もうとする力や態度を育てます。必要に応じて、教科の内容を取り扱いながら自立活動に取り組むことができます。通常学級担任や教科担当、通級による指導の担当が連携して通常学級での学びを支えます。

【その他】

- ・通級による指導の目的は、通常学級での学習の遅れを取り戻すことではありません。ただし、必要に応じて教科の内容を取り扱いながら自立活動に取り組むことがあります。
- ・学校生活のどの場面で通級による指導を行うかについては、学校と本人・保護者とで相談し、障がいの状況に合わせて決定します。通級による指導がうまく機能し、子どもの「困難さ」が改善・克服（指導目標の達成）されたら、通級による指導の終了となります。

発達障がい等をもつお子さまの保護者の方で、「通級による指導」に関心のある方は、学校までご連絡ください。障がいの状況や本人・保護者の願いを十分把握したうえで、「通級による指導」の利用を検討いたします。

大阪市の通級指導については、こちらもご参照ください。 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。